

「法令」 × 「デジタル」 ハッカソン

作品一覧

作品の概要

- 法令に詳しくない民間事業者・公務員・政治家等のための法令特化型Deep Researchツール。法令情報を政策・判例・国会等の関連情報と統合しつつ、情報収集・整理・解説を容易にし、法令調査業務を効率化。
- ユーザーのクエリーを受け取ると、検索クエリーを最適化し、Web検索・法令検索を実行。リランキング処理で関連度の高い情報を整理し、レポートを出力。OSSとしても公開済み。

社会に対して生み出す価値

- 専門家に依存せずとも適切な法令の情報収集・整理・解説が可能に。法令調査が必要な事業推進、政策立案、法制執務、規制改革等が円滑化され、社会変革のスピードの加速化にも貢献。

新規性等

- 一般的なDeep Researchよりも速く、高い精度での分量のあるレポートを生成する点で革新的である。
- 高度な検索機能とドメイン知識を活かした生成AIを利用し、法令データをセマンティック検索やレポートの自動生成において活用している。

審査員コメント

- 大量の法律等、多数の文章がある中で、それらをまとめてレポートにする必要があるという世の中のニーズを解決する便利なツール。
- 法制執務等における、信頼できるソースをより深く調べたいというニーズを捉えており、様々な課題を解決できそう。実際に使ってみたがクオリティの高い結果が得られた。
- 既にオープンソース化されていることも高評価。今後カスタマイズされていくことにも期待。

作品の画面イメージ

例えば、「AIで遠隔医療サポート。症状の提案は医療行為？」とLawsyに質問すると、次のような回答（レポート）が得られる。

AI Lawsy

AIによる遠隔医療サポートにおける法的解釈

AIを活用した遠隔医療サポートは、医療の効率化とアクセシビリティの向上に寄与していますが、その法的解釈と倫理的課題が重要な論点となっています。本レポートでは、AIによる診断提案が医療行為に該当するかどうかを法的に検討し、AIの役割を明確にするための基準を探ります。また、医療情報の匿名化やプライバシー保護に関する法令遵守の重要性を強調し、AIの安全性と倫理的考慮についても詳述します。AIと医療の融合がもたらす未来を見据え、適切な運用のための指針を提示します。

```

graph LR
    Root[AIによる遠隔医療サポートにおける法的解釈] --- B1[AIと遠隔医療の現状]
    Root --- B2[AIによる症状提案の法的側面]
    Root --- B3[法令に基づくAIの利用制限]
    Root --- B4[AIの安全性と倫理的考慮]
    Root --- B5[AIと医療情報の取り扱い]
    
    B1 --- B1_1[AIの役割と遠隔医療の普及]
    B1 --- B1_2[遠隔医療におけるAIの具体的な活用事例]
    
    B2 --- B2_1[医療行為の定義とAIの位置づけ]
    B2 --- B2_2[AIによる診断提案が医療行為に該当するか]
    
    B3 --- B3_1[医療法におけるAIの利用制限]
    B3 --- B3_2[匿名加工医療情報の取り扱いに関する規制]
    
    B4 --- B4_1[AIの安全管理措置]
    B4 --- B4_2[AI利用における倫理的課題]
    
    B5 --- B5_1[医療情報の匿名化とプライバシー保護]
    B5 --- B5_2[医療情報の第三者提供に関する制限]
  
```

AIと遠隔医療の現状

AIの役割と遠隔医療の普及

AIは、医療分野において急速にその役割を拡大しています。特に遠隔医療の分野では、AIの導入が医療サービスの提供方法を大きく変えています。AIは、患者の症状を迅速に評価し、医師に診断のための情報を提供することで、医療の効率化を助けています[6]。また、AIは24時間対応可能な医療体制を実現するための重要な要素となっており、地理的な制約を超えて医療サービスを提供することが可能です[1]。

遠隔医療は、特にパンデミックの影響で急速に普及しました。AIの活用により、医師と患者間のコミュニケーションが円滑になり、医療のアクセシビリティと効率が向上しています[7]。AIは、症状や症例のデータを迅速に分析し、可能性のある診断を提案することができるため、医療現場における意思決定をサポートします[2]。このように、AIと遠隔医療の融合は、医療の未来を形作る重要な要素となっています。

遠隔医療におけるAIの具体的な活用事例

遠隔医療におけるAIの具体的な活用事例としては、オンライン診断や継続したモニタリング、効率的なデータ収集が挙げられます。AIは、患者の健康状態をリアルタイムで監視し、異常が検出された場合には即座に医師に通知することができます[3]。これにより、患者の状態を常に把握し、迅速な対応が可能となります。

また、AIは医療データの分析にも活用されており、過去の症例データを基にした診断の精度向上に寄与しています[4]。AIは、膨大なデータを短時間で処理し、医師にとって有用な情報を提供することで、診断の質を高める役割を果たしています。さらに、AIは患者の転帰を改善し、医療提供を最適化するためのツールとしても期待されています[7]。このように、AIの活用は遠隔医療の質を向上させ、より多くの患者に対して効果的な医療サービスを提供することを可能にしています。

作品の概要

- 弁護士の法令検索を支援するAIサービスを提供する作品。依頼人とのヒアリングメモをアプリに共有するだけで、AIが、調査すべき法令を考察・提案し、e-Govに掲載されている該当条文へのリンクを提示してくれる。

社会に対して生み出す価値

- 弁護士の法令検索にかかる負担を軽減し、弁護士はより多くの時間を本来の専門業務に充てることができ、法務サービスの質向上につながる。

新規性等

- ヒアリングメモの受け渡しはテキストファイルやExcelファイル、画像、画面キャプチャなどを問わず、複数の媒体から可能。
- 法令情報はe-Gov法令APIで取得するため、最新の法令データを参照できる。

審査員コメント

- 弁護士にとっても馴染みのない法令に気づけないことがあることから便利なツールだと思われる。
- 手書きのメモにも対応しているという点で、法令にたどり着くまでの手間を減らすという特徴が高評価。
- 弁護士向けの作品として提出されているが、弁護士以外にも法的論点に接する人たちにより拡張できるはずである。誰であっても、何かメモを書いたときにそれがどのような法令に関連しているのかサジェストできるようになると、さらに可能性が広がると思う。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 一般市民や法制に関わる行政職員などのため、現行法令の課題を可視化し、具体的な改正案を提示する作品。AIと公式法令データ、最新の世論データを統合することでユーザーの入力内容から社会課題を表示し、関連する法令の特定、法令の改正案などを提示。

社会に対して生み出す価値

- 合意形成から実際の法改正に至るまでの「一歩先」の段階を自動化・効率化することで、より実効性のある法令改善提案を実現し、社会課題解決のスピードを高める。

新規性等

- APIやRAGやトピッククラスタリング技術を利用しe-Gov法令APIの条文内容取得APIを最新の条文全文を取得し、当該法令の問題点、民意との乖離度、改正ポイント、改正案の提示において活用。

審査員コメント

- 意見を取り入れたところから法改正案までの一貫通貫のプロセスを示しているのは高評価。
- 民意と条文がどれくらい離れているのかを生成AIを使って比較するという点は特徴的であり、素晴らしい取組。
- さらに、誰にどういう風に働きかければこの仕組みが実際に実現できるのかという戦略部分が今後のキーになると思うので、是非その点も踏まえて、より発展させていてもらいたい。

作品の画面イメージ

例えば、関心がある社会課題として「運転」と入力すると、関連する現行法令や国民の意見、法令と民意の乖離点や法改正のポイントを確認できる。画像は法令の問題点（民意との乖離）と改正ポイントを示している例。

法令の問題点

危険運転致死傷罪の適用範囲が曖昧であるため、適用されるべき事例に適用されないことがある。
(参考コメント例)

危険運転致死傷罪が加害者の人権を過剰に侵害しているとの意見がある。
(参考コメント例)

危険運転致死傷罪の法定刑が被害者や世論の期待に応えていない。
(参考コメント例)

改正ポイント

危険運転致死傷罪の適用範囲を明確化し、適用されるべき事例に確実に適用されるようにする。

加害者の人権を考慮しつつ、危険運転致死傷罪の適用基準を見直

自分の意見を取り入れる

作品の概要

- 法制執務担当の国家公務員や企業の法務担当、弁護士等の法曹関係者のため、法令における定義規定を素早く閲覧できる機能を提供する作品。

社会に対して生み出す価値

- 法令の定義規定が、定義語の初登場時にのみ記載されており、定義規定がどこに設けられているのか分からず、定義語の検索に無駄な時間や労力がかかっているという現状がある。
- 本作品の活用により、「e-Gov法令API」で提供されている各法律の定義語を瞬時に表示し、上記の無駄な時間や労力の削減が可能となる。

新規性等

- 本作品は、法令名検索によって、条文中の定義箇所を集中的に抽出・表示するという点で革新的な作品。

審査員コメント

- 定義規定は、極めて重要であり、その定義規定の調査に長時間費やして苦労している国家公務員もいるので、その部分に明確にアプローチして解決していることが素晴らしく、評価が高い。
- 解決したい課題が明確であって、それに対するソリューションも非常に使いやすいものになっている。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 「法令AI」、「事例AI」、「パブリックコメントAI」「webリサーチAI」など、異なる能力・専門性・立場をもつ複数のAI と人間が協力しながら質の高い法律文書を作る機能を提供する作品。

社会に対して生み出す価値

- 本作品により、法令 API や大規模言語モデル等、最新のデジタル技術を活用した AI 達の力を使いながら法律文書作成が可能となる。

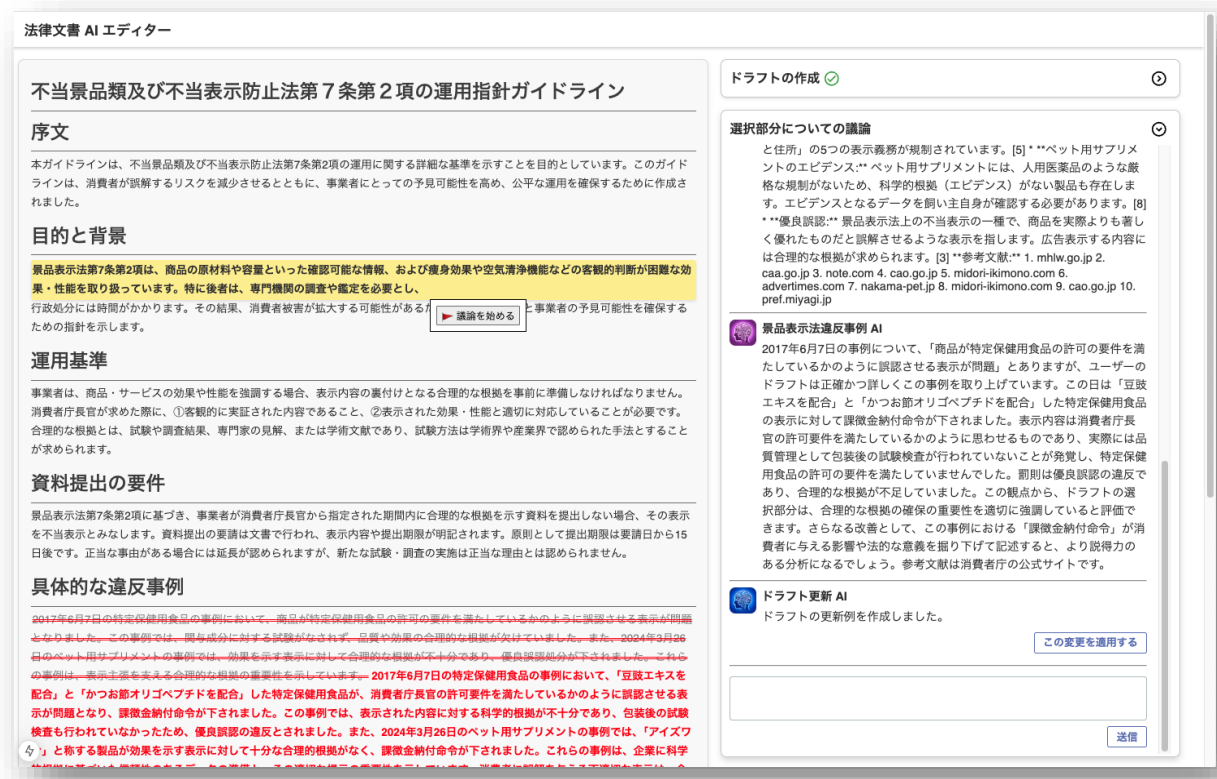
新規性等

- RAG（検索拡張生成）を利用し、法令データを、実際の法令を引用しながら専門的な発言ができる AI、「法令 AI」において法令APIを活用。

審査員コメント

- 非常に2025年らしい工夫の凝らされた作品。それぞれ強みを持つAIエージェントと人間とが協調しながら議論させるエディタという発想が大変良かった。
- 様々な立場の意見をすり合わせる行政官の業務にイメージが近く、事例を収集するAIについても精度が高いと感じた。政策立案の際に欠けている点を補ったり、事例の積み上げを行ったりできるような補助ツールとして活用可能。

作品の画面イメージ



作品の画面イメージ

```

natsu@Natsus-MacBook-Pro core % cat touroku_kaigi_menkyo.txt
国海資第10号
平成16年4月16日
(改正：平成26年3月10日、国海技第228号)
(改正：平成29年2月10日、国海技第401号)
(改正：令和3年12月23日、国海技第241号)
(改正：令和6年6月27日、国海技第80号)
登録海技免許講習実施要領
第1 適用範囲
船舶職員及び小型船舶操縦者法(昭和26年法律第149号。以下「法」という。)第4条
第2項に規定する海技免許講習の登録に関する手続等については、この要領に定めるところ
によるものとする。
第2 海技免許講習の登録(法第17条)
1. 登録申請書の提出
(1) 海技免許講習の登録を受けようとする者(以下「登録申請者」という。)は、船舶職
員及び小型船舶操縦者法施行規則(昭和26年運輸省令第91号。以下「規則」という。)
第3条の3第1項の規定に基づき、海技免許講習登録申請書(第1号様式)に2. で掲げる
関係書類を添えて、登録を受けようとする日の4週間前を目処に当該登録申請者の住所地
の主たる事務所の所在地を管轄する地方運輸局長(神戸運輸監理部長及び沖縄総合事務局長
を含む。以下同じ。)を経由して国土交通大臣に提出するものとする。(国の機関にあっては
、登録を受けようとする日の3週間前を目処に国土交通大臣に提出するものとする。
(2) 地方運輸局長は、当該申請書(国の機関を除く。)の提出があったときは、2. に掲
げる添付書類が添付されているか、登録申請書の記載事項に誤りがないか、登録免許税の納
付額に過不足は無いかを審査した後、当該申請書を受取り、当該申請書に官庁印を押印した
上、速やかに提出書類一式を本省あてに送付するものとする。
2. 添付書類
添付資料は、次の各号に掲げるものとする。
一 定款、寄附行為及び登記簿の謄本(提出の日前1年以内に作成されたものに限る。以
下同じ。)又はこれらに準ずる書類(国又は地方公共団体の機関(以下「国等」という。)
を除く。)*登録申請者が個人である場合は、当該申請者の住民票の写し(提出の日前1年
以内に作成されたものに限る。以下同じ。)とする。
二 地方公共団体の機関にあっては、当該機関の設置条例等の写し
三 学則(学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条の大学、高等専門学校、高等学
校若しくは中等教育学校又は海上自衛隊第一術科学校、海上自衛隊第二術科学校、海上保安
大学校、海上保安学校、国立研究開発法人水産研究・開発機構又は独立行政法人海技教育機
構に限る。以下「学校等」という。)及び当該講習機関の設置根拠が記載されている規程等
四 役員名簿(国等を除く。)
五 役員の名、住所及び経歴を記載した履歴書(国等を除く。)*登録申請者が個人で
ある場合は、当該登録申請者の履歴書とする。

```

```

natsu@Natsus-MacBook-Pro core % npm run lawtext -- --input touroku_kaigi_menkyo.txt
--intype notice --outtype xml --format
> lawtext@0.1.51 lawtext
> node ./dist/src/main.js --input touroku_kaigi_menkyo.txt --intype notice --outtyp
e=xml --format
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<LawAndNotice Lang="ja">
  <Notice>
    <NoticeNum>
      国海資第10号平成16年4月16日
    </NoticeNum>
    <NoticeBody>
      <NoticeMetadata>
        <NoticeMetadataItem Key="Related">
          (改正：平成26年3月10日、国海技第228号)
        </NoticeMetadataItem>
        <NoticeMetadataItem Key="Related">
          (改正：平成29年2月10日、国海技第401号)
        </NoticeMetadataItem>
        <NoticeMetadataItem Key="Related">
          (改正：令和3年12月23日、国海技第241号)
        </NoticeMetadataItem>
        <NoticeMetadataItem Key="Related">
          (改正：令和6年6月27日、国海技第80号)
        </NoticeMetadataItem>
      </NoticeMetadata>
      <NoticeTitle>
        登録海技免許講習実施要領
      </NoticeTitle>
      <NoticeMainProvision>
        <TitledStructure>
          <TitledStructureTitle>
            第1 適用範囲
          </TitledStructureTitle>
          <TitledStructureBody/>
        </TitledStructure>
      </NoticeMainProvision>
    </NoticeBody>
  </Notice>
</LawAndNotice>

```

作品の概要

- 法令データの整備者のため、通知・通達のXMLスキーマを定義。さらに通知・通達をテキスト形式の文書からXMLへ構造化する作品。

社会に対して生み出す価値

- オープンソースソフトウェア「Lawtext」は法令標準XMLスキーマ準拠の法令をXMLに変換できるが、通知・通達をXML化することはできないところ、これに対応したもの。

新規性等

- 本作品はLawtextに続き、公的文書を汎用的に自動でデータ化。Lawtextを利用し、法令データの拡張性の強化において活用。

審査員コメント

- 社会現場での実際のルールを規定している通知・通達についてXML化を試みる点で新しく、素晴らしい作品。
- 通知・通達自体の構造化されたデータがない現状に対して、統一的なフォーマットで提供できる点で高評価。

作品名：建築基準法を遵守した建物生成AI

チーム名：都市計画法と建築基準法、2つの法律を遵守した最適建物を独自のAIで自動生成

作品の概要

- 不動産開発事業者が土地の価値を見立て、事業性を検証するための、建築基準法を満たした最適な建物を瞬時に生成する建物生成AIを提供する作品。
- 地図上の地番をクリックするだけで、当該地番に適した（建築基準法を遵守した）建物を自動生成するとともに、平面図や日影規制を守った日影図なども出力される。

社会に対して生み出す価値

- 土地の価値は、そこにどのような建物が建てられるかで決まるが、その検証には建築基準法や建築設計に関する高度専門知識が必要。本作品により、土地の価値を瞬時に見立てることができるほか、不動産流通の透明性の向上も期待。

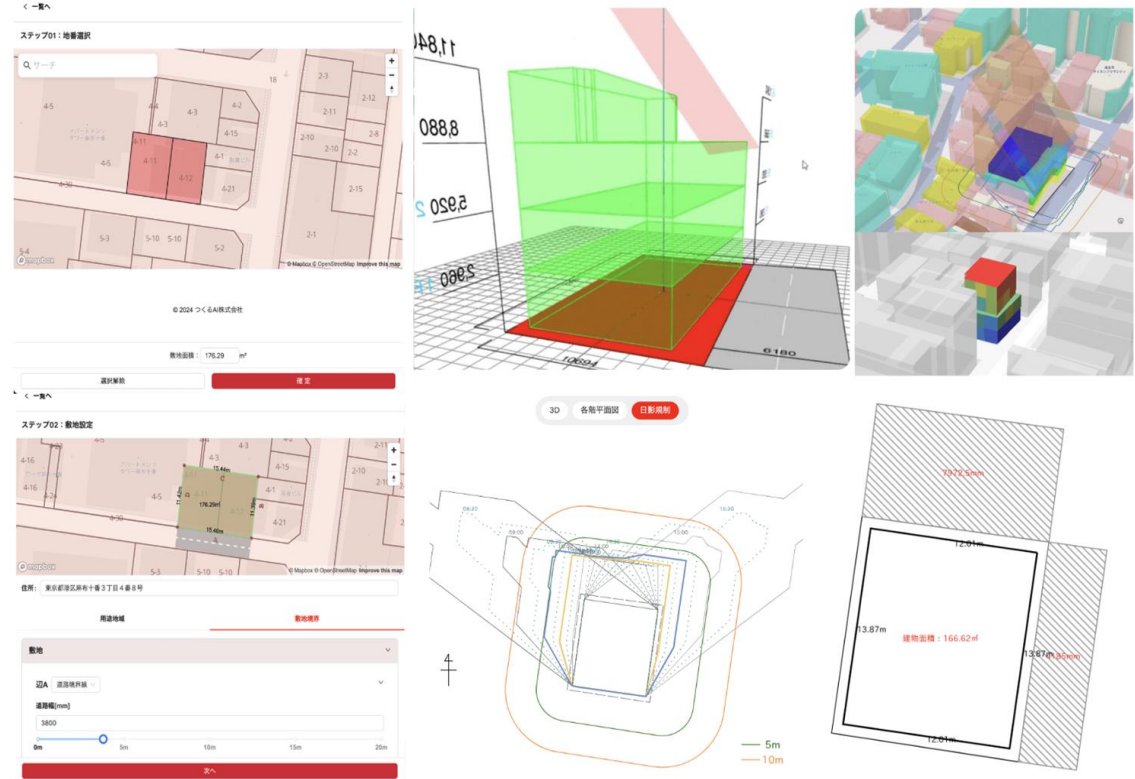
新規性等

- 本作品は、建築基準法を一から読み込み、さらに、斜線や日影・天空など、複雑な数学処理を用いた独自の建物生成AIを搭載した点で革新的な作品。

審査員コメント

- 複雑な処理がバックエンドでなされており、実際のユースケースを捉えられている、完成度の高い作品。
- 専門家が人手で行っていた作業を自動化し、ルールを文書からビジュアルライズするという点でも有意義であり、社会的インパクトが大きい。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 都市計画法で定義される、用途地域や防火地域をはじめ、高度規制や日影規制、道路の幅、地番まで、都市計画に関連する情報を一箇所に統合し、都市開発に必要な情報を即時に地図上で確認・検索できる作品。都市計画に関わる自治体の職員や都市開発事業者の利用を想定。

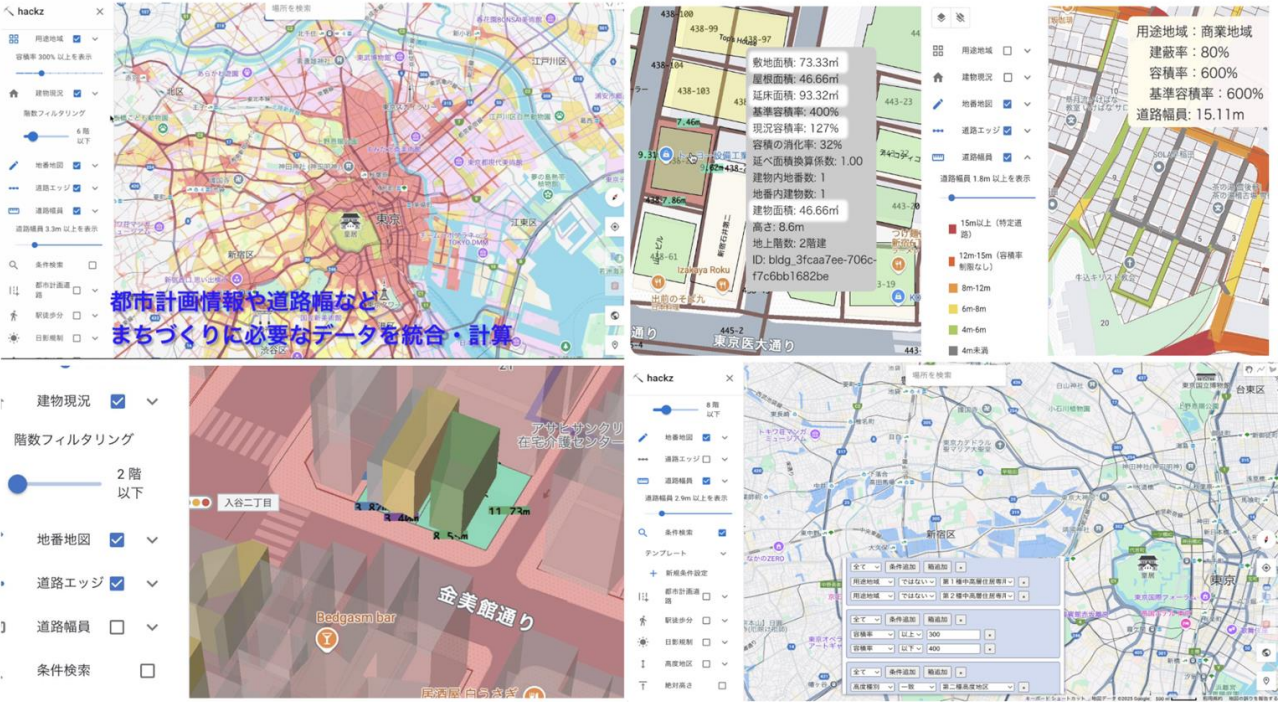
社会に対して生み出す価値

- 現在、都市計画GISデータは、市区町村ごとにバラバラに管理されており、統一的な閲覧に時間がかかる。
- 本作品により、複数自治体が展開する都市計画法令データを一元化し、各種規制情報を地図上で即時に確認・検索でき、都市計画に関わる官民ユーザーは、大幅に業務効率を改善することができる。

新規性等

- みんなのGISサイトのような類似サービスがあるが、それらに比べ、閲覧の効率性や、実際の都市開発をおこなうにあたっての情報の充実性の点で優れている。本作品は、各種の都市計画情報と、それを適用する敷地・道路の情報まで統合した点で革新的な作品。
- GISデータの高速処理を利用し、都市計画情報を取得・閲覧する場面において活用。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 馴染みのない法令を素早く調べたいユーザーのため、e-Gov法令検索を見やすい画面に変換するChrome拡張機能を提供する作品。例えば、条文内で定義された言葉をリンクに変換する機能や、括弧の中に記述される文章に下線を引いて条文を読みやすくする機能で、条文の可読性を向上する。e-Gov法令検索データと法令APIは、法令の条文で定義された言葉のリンク変換やポップオーバー実装の点で利用している。

社会に対して生み出す価値

- 現在、e-Gov法令検索を使うユーザーには、手軽に法令を調べたいニーズが存在する。
- 本作品により、e-Gov法令検索が読みやすくなり、初見の法令の構造を直感的に理解することが可能となる。

新規性等

- 既にLegalLink Insightやe-Gov AmiAmiのような類似のサービスがあるが、当該既存のサービスに比べ、ページ内で定義された単語をリンクに変換して分かりやすく表示する点が新しい。

作品の画面イメージ

例えば、条文で定義された言葉（画像内の(以下「会社」という。)の会社の部分)をリンクに変換して表示する。ページ内のリンクについてはポップオーバーで参照できる。

The screenshot shows a legal document snippet with a pop-over menu. The menu highlights the word '会社' (Company) and provides a definition link: '会社 (以下「会社」という。)は...'. The pop-over also lists '代表取締役' (Representative Director) and '監査役' (Auditor) as related terms.

条文で定義された言葉をリンクに変換

作品の概要

- 法制事務に携わる国家公務員のため、法案作成効率化を提供する作品。法案を作成する際に、法案文を選択すると、関連する法令を自動的に法令データベースから取得して提示するツール。LLMが参照するデータは法令データベースに制限されるため、正確で最新の情報を自動的に取得できる。

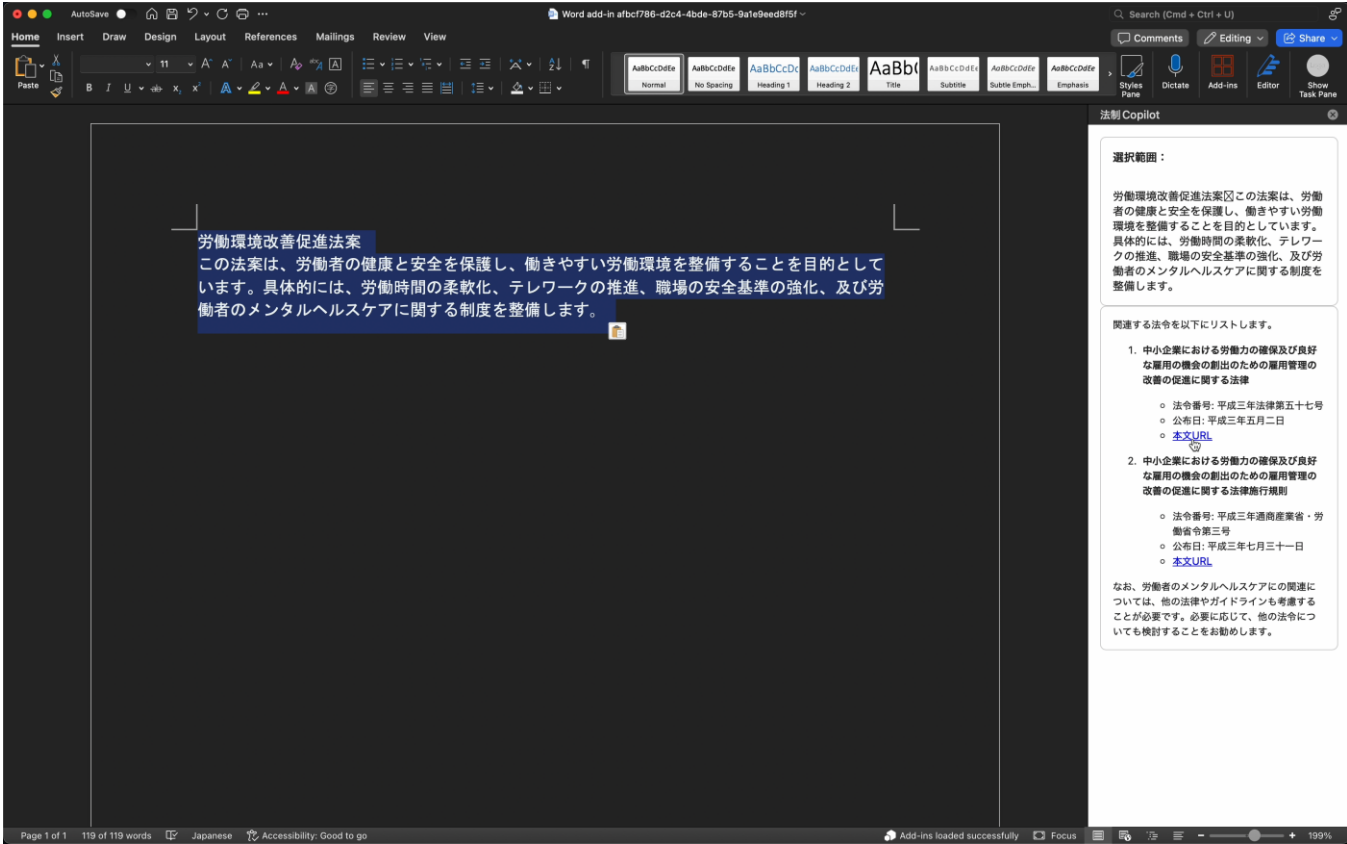
社会に対して生み出す価値

- 現在、法案作成には多くの時間がかかるうえ、自動化可能な作業に労力を取られ、肝心な部分でミスが多発しているという課題が存在する。
- 本作品により、業務効率化による労働時間の削減と正確性の向上が可能となり、働き方改革の実現や法案作成に携わる人の増加が期待できる。

新規性等

- 本作品は、法制事務の効率化のためにLLM/RAG（Retrieval-Augmented Generation）を使用している点で革新的な作品である。

作品の画面イメージ



作品の概要

- UI (HTML + JavaScript) を用いて条文を一覧表示し、クリックすると生成したファンタジー風ストーリーが表示される仕組みです。
- 各条文のストーリーには、AIを活用して生成した内容を採用しています。
- 作品のデモページにおいては、条文名（もしくは条番号）のアイテムをクリックするとストーリーが展開されるUIになっています（提出段階では10条項ほどの実装となっています。）。

社会に対して生み出す価値

- ファンタジー小説風ストーリーとして法律を読み解くことで、敷居を下げ、理解しやすい入口を作る。
- 法令APIやAI生成技術を活用し、多くの人が法律に触れる機会を増やす。
- 法律が持つ本来の公共性・公平性の理念を、より多角的な視点から周知する。

新規性等

- 他の法律分野（刑法、商法など）への展開→ベンチャー企業向けの著作権法の解説等
- 教育現場や法教育プログラムへの導入を検討。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 法令データを取得した上でAIに基づき適切な法的アドバイスをを行い、労基職員・労働相談員の総合労働相談の年間120万件の約7割を占める法制度の問い合わせを効率化する作品。

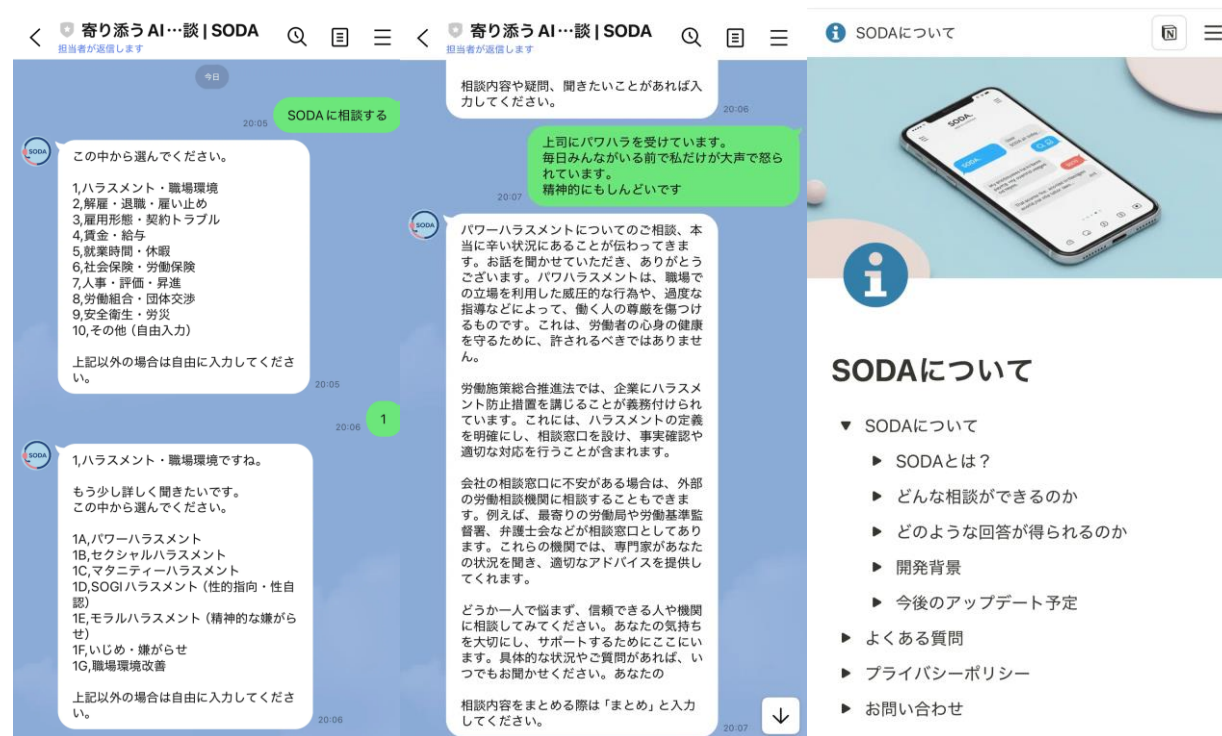
社会に対して生み出す価値

- 現在、全国に数千人しかいない相談員が、年間120万件の労働相談に対応し、その約70%が法制度に関する問い合わせ。かつ対応の約80%はいまだに対面や電話で人のリソースがかかっている状況が存在。
- 本作品により、法令を根拠とした労働相談の回答とその後の必要な手続きを案内。その結果、電話や対面での相談の時間を大きく減らすことが可能となる。

新規性等

- 本作品は、【対面や電話相談のような寄り添い】と【相談者の立場や状況を考えながら、次取るべきアクションまで案内】をアップデートし、相談者の"その後"まで見据えてる点]点が革新的な作品。
- OpenAI API、LINE Developer、Google Developerを利用し、キーワード検索API、法令ファイル取得APIを相談内容に応じて適切な法令を取得し要約を行うにおいて活用。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 訪日外国人のため、特定の場所に近づいたときに関連する法令を通知するスマホアプリ
- Google Mapの属性情報によってピンが立ち、アプリ利用者がピンに近づいた際にその場所に関連する法令情報を通知する。

社会に対して生み出す価値

- 年々増加する訪日外国人が法律的・文化的違いによって意図せず法令に違反してしまう問題がある。
- 本アプリにより、訪日外国人が法令に関する通知を受け取ることで安心して日本で過ごすことができる。

新規性等

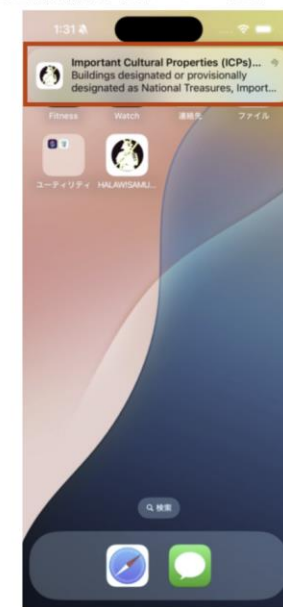
- アプリ利用者が訪問先に近づいたタイミングで、その場に必要法令の通知を自動的に受け取れる点
- 生成AIにより法令データを処理してわかりやすくイラストや英訳で伝えることができる点
- AIの弱点である情報の不確実性を法令APIが補っている点

作品の画面イメージ

設定した属性情報に基づく
PINが自動で立っている



PINに近づいたら
位置情報を検知して通知する



イラストを用いて法令を伝える



作品の概要

- いじめなどの問題に対し、迅速かつ慎重な対応が求められる教員のために、法令やガイドラインに沿った実践的な判断を、従来よりも素早く下せるようにする作品。質問に答えることで、法令やガイドラインに沿った問題解決のためのアプローチ等が示される。

社会に対して生み出す価値

- 現在、倫理的・法的側面の議論による意思決定の遅れが課題。法令に沿った倫理性・法的適合性を備えた実践的な判断を、現在の議論ベースの対応フローよりも短時間で、24時間いつでも行えるニーズ等が存在。
- 本作品により、状況調査以外にかかる時間を短縮し、状況調査により多くの時間を割くことが可能になる。解決策の質の向上にも繋がる。

新規性等

- AIを用いたことで24時間対応が可能に。法令や文部科学省のガイドラインに沿った具体的な提案が得られる。
- Difyを利用して構築。いじめ防止対策推進法、学校教育法、教育基本法などの関連法令は、法令本文取得APIを利用して取得し、Googleスプレッドシートへ出力できる。

作品の画面イメージ

The screenshot shows a web application interface for a 'Test Run#3'. At the top, there are navigation buttons: '実行' (Execute), '機能' (Function), and '公開する' (Publish). Below this is a form titled 'Test Run#3' with tabs for '入力' (Input), '結果' (Result), '詳細' (Details), and 'トレース' (Trace). The form contains several sections with dropdown menus:

- いじめの種類は？** (What type of bullying is it?)
 - 身体的いじめ(暴力を振るう、物を壊す・隠すなど)
 - 精神的いじめ(言葉による侮辱、仲間外し、脅迫など)
 - ネット(オンライン)でのいじめ(SNSや掲示板での誹謗中傷、拡散など)
 - その他(上記に当てはまらない、複合的なものなど)
 - 定期的な話を聞いたり、カウンセリングを案内するなどのサポ...
- いじめを、周囲の人はどのように捉えているか？** (How do those around them perceive the bullying?)
 - 「ただのふざけ・軽い冗談」として深刻に捉えていない
- いじめに関わる周囲(クラスメイトや同僚、保護者など)は、現在どのよ...** (How are those around the bullying, such as classmates, colleagues, and guardians, currently...)
 - 見て見ぬふりをしており、トラブルに巻き込まれたくないという...
- いじめの加害者の状況は？** (What is the status of the perpetrator?)
 - 加害者本人との個別面談を行い、家庭環境やストレス要...
- いじめの加害者に対して、具体的にどのような指導や関わりを行っている...** (Against the perpetrator, what specific guidance or involvement is being carried out...)
 - 見守るだけで、特に指導は行っていない

At the bottom of the form, there is a blue button labeled '実行を開始' (Start Execution).

作品の概要

- 東京都内の医療機関および行政担当者のため、各施設の基本情報と感染症対応状況の一元管理を行い、感染症法令情報と施設のデータを組み合わせて自施設向け感染症マニュアルの自動生成機能を提供する作品。
- サンプルデータベースは、G-MIS等の既存データベースと連携しやすいよう、東京都医療措置協定の提出項目に基づいて構築され、動的なデータ項目はWebサイトから随時修正可能な設計となっています。

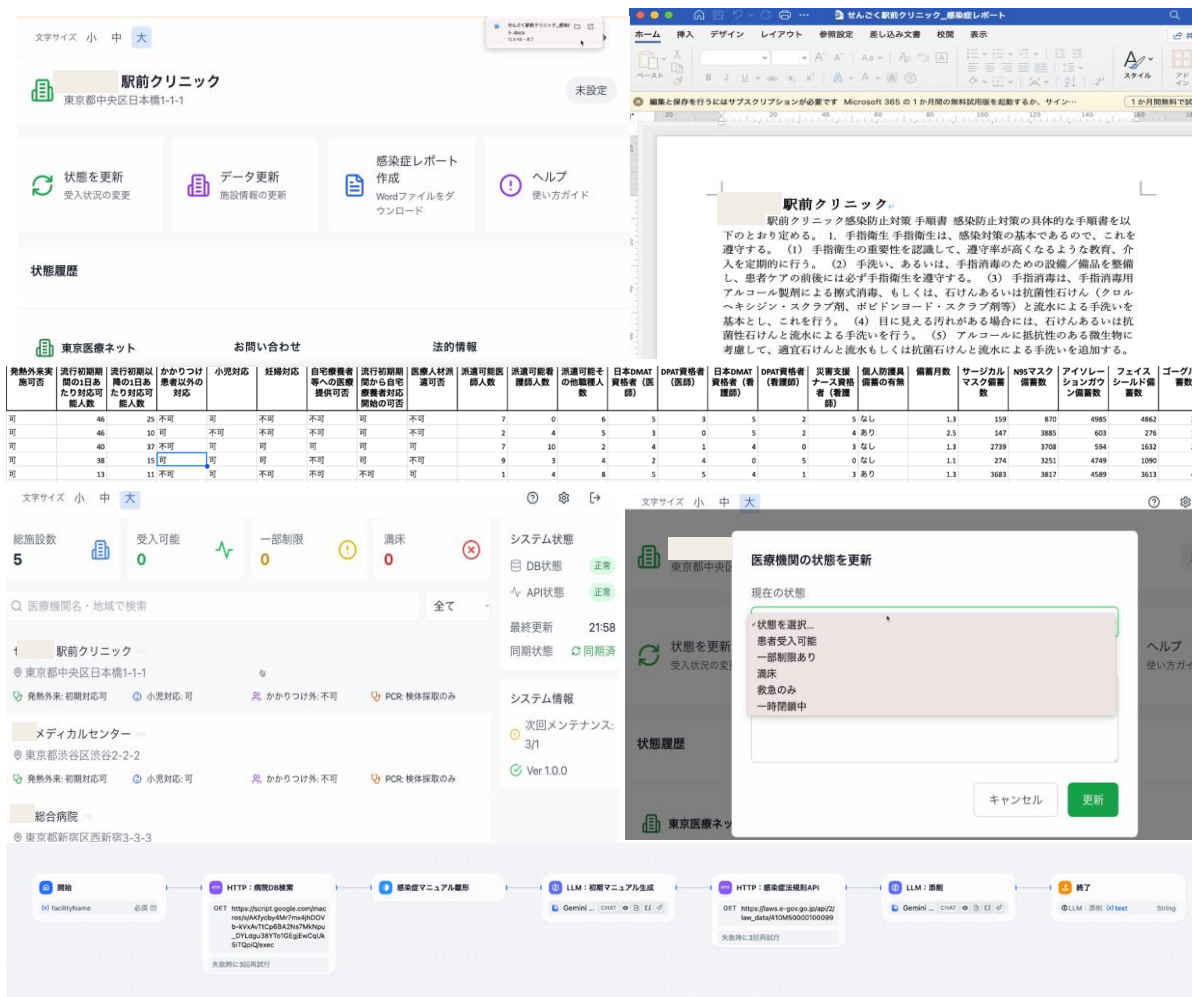
社会に対して生み出す価値

- 現在、医療現場ではリソース管理の不透明さや法令改定対応の遅れという課題が存在。
- 本作品により、各施設の運営効率の向上と行政による迅速な状況把握が実現され、医療サービスの質向上および社会全体の安心・安全に繋がる。

新規性等

- 本作品は、従来別々に提供されていた医療情報管理システムと法令本文取得を統合し、各医療施設向けにカスタマイズされた感染症マニュアルを自動生成する点で革新的な作品。
- 主要なバックエンドシステムは、Difyワークフローと、Google Apps ScriptによるREST API、法令APIを活用して最新の感染症法規則を取得する仕組みにより構築され、これらの情報をもとに各施設の登録データに合わせた感染症マニュアルを生成に活用される。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 法制執務者や法務に従事する者が関連する法律文書を検索し、目的の文書にたどり着きやすくする機能を提供する作品。入力した単語の類似度判定により関連法令を探しブラウザ上で表示することができる。

社会に対して生み出す価値

- 法令などの法律文書は増え続けており、法制執務者などが取り扱わなければならないトピックも増えており、適切な前例や文献にたどり着くコストが高まっている。
- 本サービスにより検索コストを大きく低減することができるようになり、人が創造性を発揮する作業に集中できるようになる。

新規性等

- 本作品は、検索エンジンのチューニング可能な点やブラウザ（Chrome）拡張という形での検索のしやすさという点で革新的な作品。
- 単なるキーワード検索ではなく、機械学習モデルを用い、法令XMLデータ中のテキストと検索ワードの類似度判定を行う。

作品の画面イメージ



作品の概要

- (若年層を中心とした)建築設計士のために、住所入力のみで設計業務の前段階における適用法令・建築可能ボリュームなどの設計要件調査の自動化を提供する作品。

社会に対して生み出す価値

- 現在の建築設計業務では、区役所のHPで住所に対応する用途地域と建蔽率・容積率等の都市計画情報を調べ、建築関係法令集で、用途地域等の該当法文を探し、さらに法文に記載のある別表第2の法文等の関連法令を調べる必要がある。さらに市区町村で異なる条例・要綱・法解釈基準を別途調べたりと、設計前の該当法令やそこから建築可能ボリュームを洗い出す作業は設計業務フローの中で多くの時間を有するボトルネックとなっている。
- 本作品により、設計業務に充てられる時間を増やすこと・若手設計士の法令を扱うハードルを下げることが可能となる。

新規性等


- 本作品は、住所入力のみで法令の抽出まで1工数で算出できる点で革新的な作品。
- ZENRIN API (地図API) ・法令API ・告示APIの活用。
(法令データを建築基準法第48条の条文と関連する法別表第2の情報、告示文を用途地域名から取得する場面において活用)

🏠 ホームへ戻る Legal API

← 用途地域検索 🔍 プロジェクトに保存

東京都渋谷区東一丁目

用途地域



所在地	東京都渋谷区東一丁目
用途地域	第二種中高層住居専用地域
防火地域	準防火地域
建蔽率	60%
建蔽率 (制限値)	60%
容積率	300%
高度地区	最高高度30m 第3種高度地区
高度地区 (制限値)	最高高度30m 第3種高度地区
区域区分	市街化区域
風致地区	-
建築基準法48条	条文を表示
法別表第2	条文を表示
告示文	告示文を表示
東京都建築安全条例	条文を表示

作品の概要

- 農業従事者に、農業関連法令の最新改正情報を迅速かつ分かりやすく提供し、生成AIによる要約・図解・Q&A機能を通じてリスク回避と意思決定を支援する機能を提供する作品。

社会に対して生み出す価値

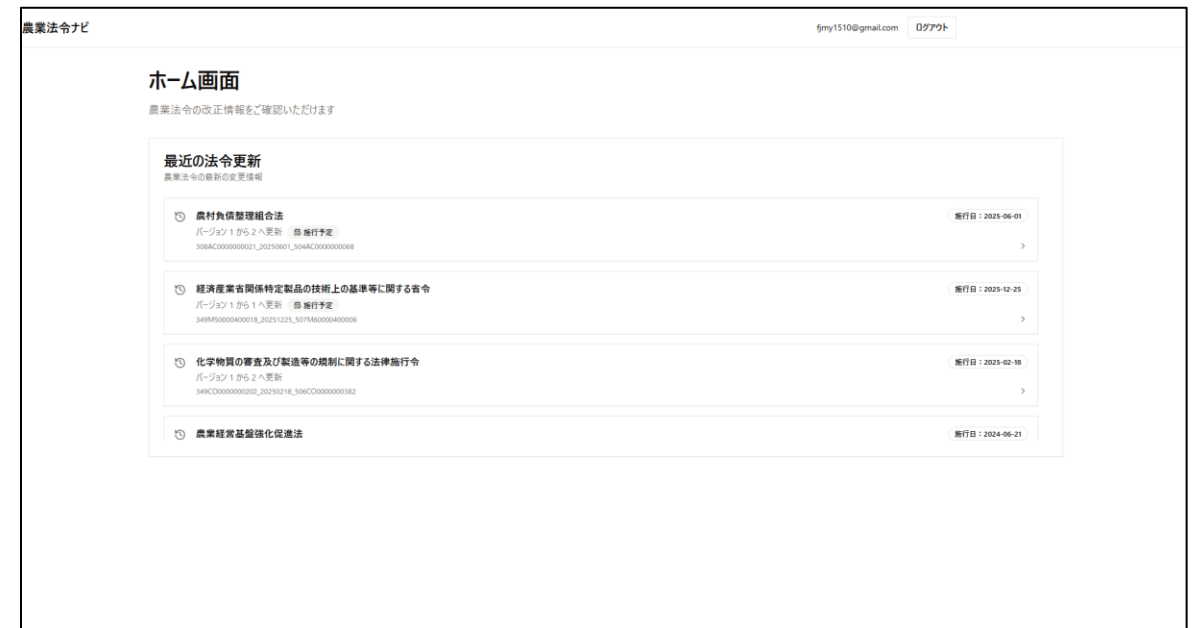
- 現在、農業現場において法令改正情報を把握・理解することが困難であり、対応の遅れによるリスクや業務負担が生じているという課題が存在。
- 本作品により、専門的な法令内容をわかりやすく解説することで、農業従事者の法令対応を効率化し、潜在的なリスクを未然に防止することが可能となる。

新規性等

- 本作品は、農業法令の理解に生成AI技術による平易な解説と視覚的な図解を提供するとともに、チャットボット機能によるインタラクティブなQ&Aシステムを一体的に実装している点の点で革新的な作品。
- e-Gov法令APIを用いて農業関連の法令(デモでは農業経営基盤強化促進法)の全文を取得。生成AIによる解説・図解、チャットボットによる回答が可能となっている。

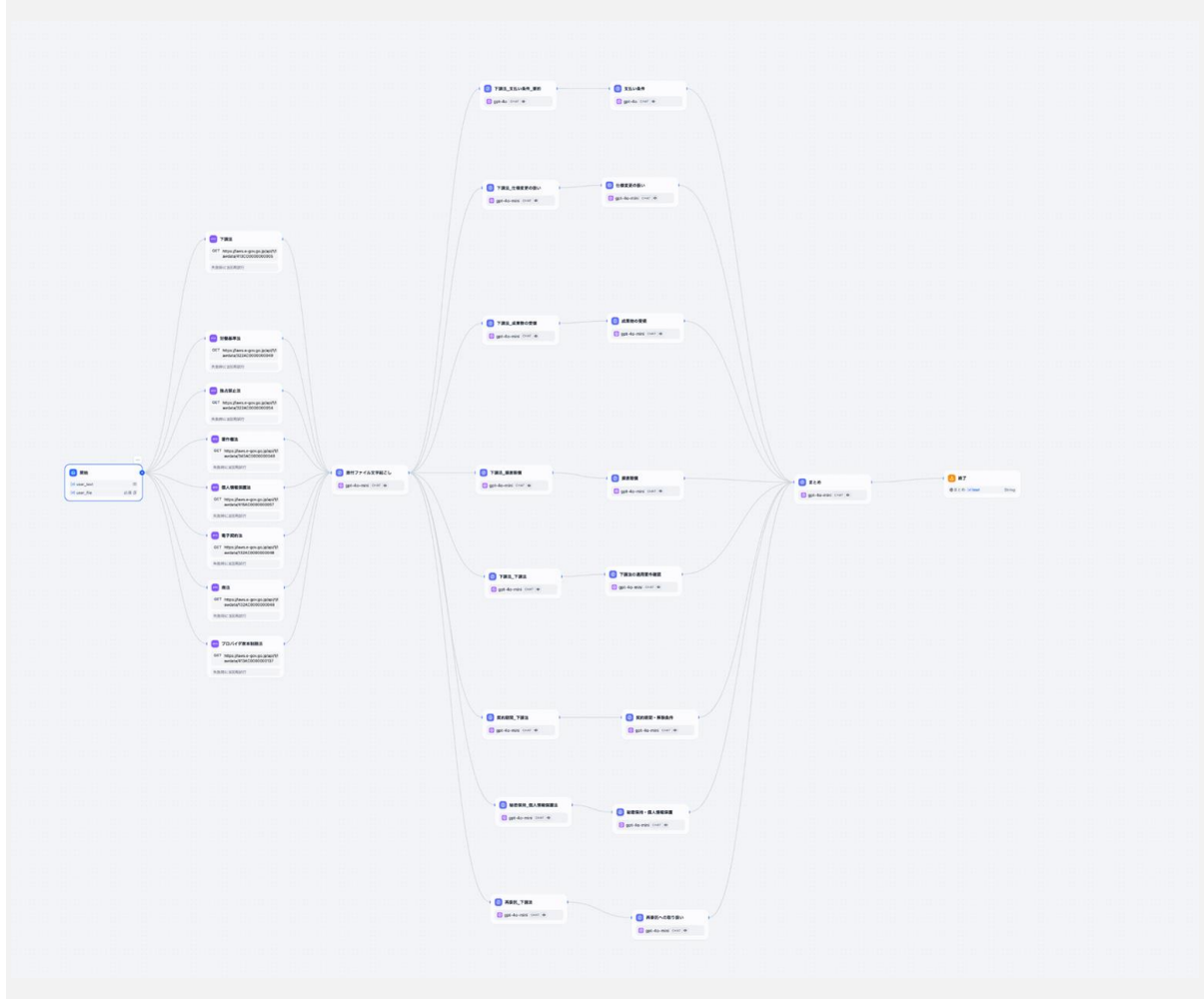
作品の画面イメージ

ダッシュボード画面では、最新の改正法令が何か一目で確認できる他、チャットボットで農業法令全般を質問できる。



作品の画面イメージ

下請け契約時に気を付ける項目毎に問題点を出力



作品の概要

- 法務担当不在のスタートアップIT企業のため、PDF・Wordファイルをアップロードすると、法令APIを活用して契約リスクを解析し、不利な条件を自動抽出するAI契約レビュー機能を提供する作品。

社会に対して生み出す価値

- 現在、専門的な法務知識を持たない企業や個人が、契約リスクを十分に把握しきれないという課題や背景が存在。
- 本作品により、自動的に最新の法令を参照しながらリスクを抽出し、契約内容を検討できるようになる。契約トラブルの未然防止や法務対応の迅速化が期待できる。

新規性等

- 契約書レビューに関する類似のサービスが有るが、当該既存のサービスに比べより安価に実施できる。またIT業界ならではの課題や問題に特化したサービスである点で新規性がある。
- 自然言語処理(NLP)、法令APIを利用し、契約書の自動分析とリスク抽出を実現。具体的には法令データ・法令APIを利用し、契約書に紐づく条項に関連する法令・判例を即時に検索し、リスクを評価し、利用者が簡単にリスクの有無を把握することができる。

作品の概要

- 法令作成者のため、一次案作成者、海外法改正チェック者、関連法令チェック者、関連判例チェック者、用語チェック者、告示作成者の生成AIエージェントが連携して法令作成者の要望に基づいて法令案を順番にブラッシュアップしていく作品。

社会に対して生み出す価値

- 現在、法令作成者は過去の法令・告示・判例・海外の法整備の流れ等、様々な要件に合致するように法令を検討が必要があり、その検討負荷軽減のためAIにサポートしてほしいというニーズが存在。
- 本作品により、ユーザの要望に基づいて法令作成案を作成し、それぞれ専門家のAIエージェントが、専門家の立場から案を修正して改善してくれるため、その意見を取捨選択して法令案をブラッシュアップしていくことが可能となる。

新規性等

- 本作品は、各専門家AIエージェントの変更・追加により様々な要件に対応できる拡張性の高さおよび、各AIエージェントのチューニングで段階的に法令案の品質改善し、その途中経過の可視化ができる点で革新的な作品。
- LLM/RAG/法令API/Difyの4つの技術を組み合わせて利用し、法令データを元に複数の生成AIエージェントが法令案を自動的に生成・改善案を提示することに活用。

作品の画面イメージ

専門のエージェントによる適切なチェック！



海外状況チェック

関連法令チェック

関連判例チェック

用語チェック

作品の概要

- 行政担当者のための高度なAIエージェント型法令検索システム。自然言語での問い合わせから関連法令を検索し、意味的な関連性と引用頻度を考慮したランキングで最適な法令を提示する。エージェントの思考プロセスを視覚化することで、検索結果がどのように導き出されたかを透明性高く表示する点が特徴。

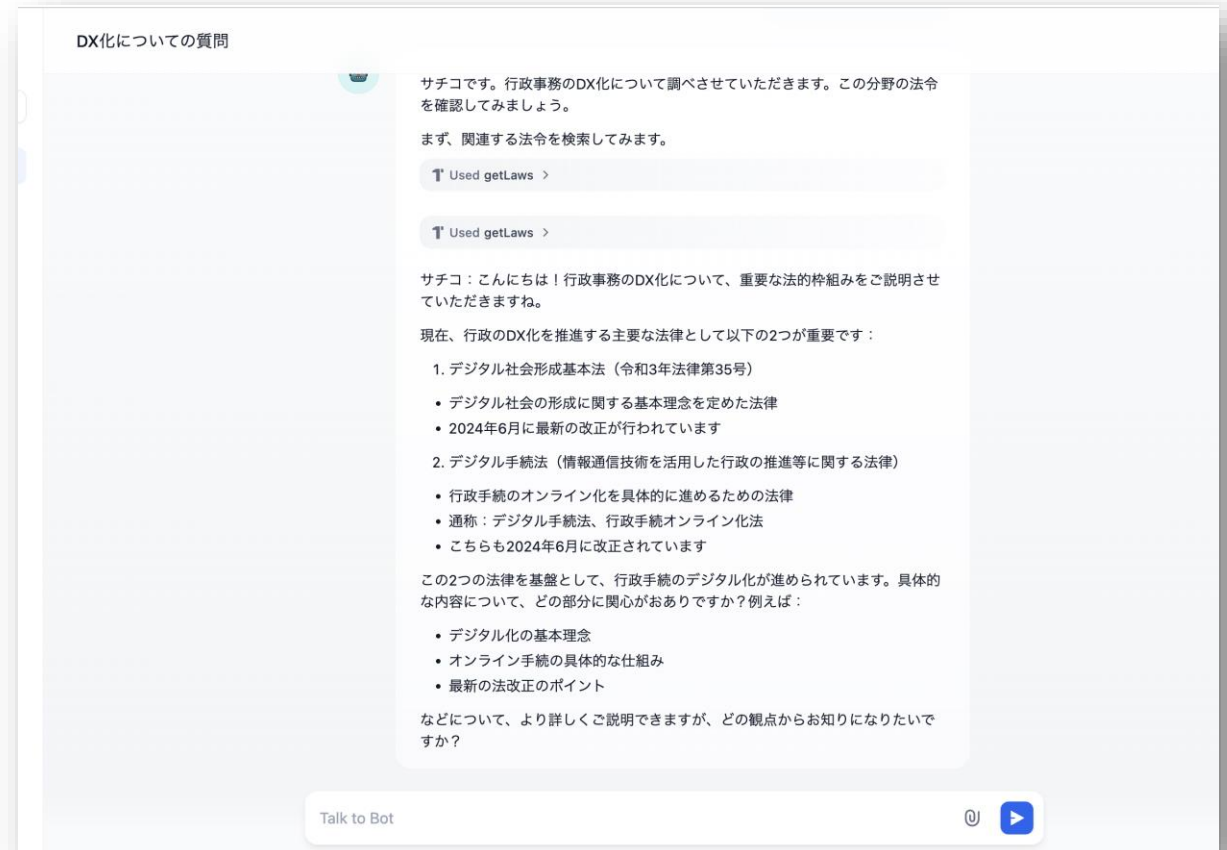
社会に対して生み出す価値

- 行政業務の効率化
- 法的知識へのアクセス向上
- 意思決定の透明性向上

新規性等

- エージェントイックな検索体験
- ベクトル検索とキーワード検索を組み合わせたハイブリッド検索エンジン
- 検索プロセスの透明化
- 法令、判例、行政資料など複数のデータベースを横断的に検索できる

作品の画面イメージ



作品の概要

- 複数の法令を横断的に確認・遵守する必要がある事業者・専門家のため、法令データを自動解析・階層化し、効率的な検索・可視化を提供する作品。ユーザーがキーワードを入力すると、関連する法令をまとめて取得した上でフローチャートとして可視化する。

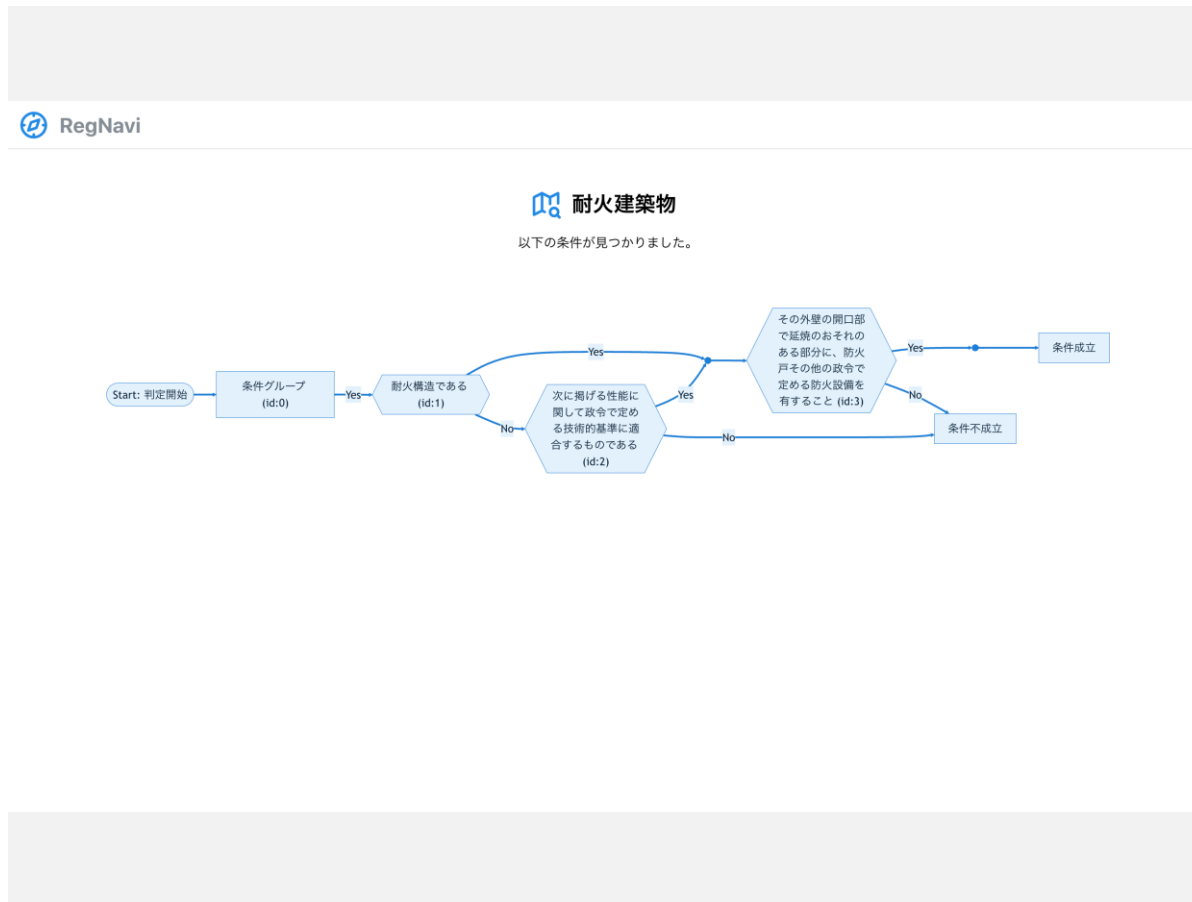
社会に対して生み出す価値

- 現在、複数法令の把握に多大な調査コストがかかるという課題が存在。
- 本作品により、法令間の関連性をツリー構造でデータ管理をした上でフローチャートとして可視化し、調査コストの削減と法令対応の効率化が可能となる。

新規性等

- 本作品は、LLMを活用した法令の階層解析やツリー構造による可視化という点で革新的な作品である。
- Python、React、MongoDBなどを利用し、法令APIプロトタイプ Version2の法令本文取得APIから取得した法令データを解析・構造化し、フロントエンドでの可視化や検索機能において活用している。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 建築設計者のため、フランクな会話の中で法令を常に確認しながら手戻りのない設計が可能になる建築設計用音声対話型生成AIを提供する作品。

社会に対して生み出す価値

- 現在、設計中の計画が法令を逸脱していることに気が付かず、設計のやりなおしが発生する課題が存在。
- 本作品により、複数の法文を同時に確認しながら法令に適合した建築物を設計することが可能となる。

新規性等

- 本作品は、設計のプロセスにおいて、BIMを審査プログラムで適否判定することや生成AIが法令を常に参照し、解説するという点で革新的な作品。
- BIMファイルの正確な法令遵守チェックと、法令の条文を元にした生成AIによる分かりやすい解説の両立を実現するために、審査プログラムをOpen BIM Components、生成AIによる解説・発話にChatGPTとAWS Pollyという技術を利用。

作品の画面イメージ

例えば、ユーザーが「店舗エリアを大きくした。じゃーびすどうだ?」と問いかけると、下記のような回答が得られる。



作品の概要

- 法律を作成・編集する方のために、法令の編集、AIによる提案を行うWebエディタを提供する作品。

社会に対して生み出す価値

- 現在、法律作成時に、専用の編集ソフトがなく、ワープロソフトで加筆訂正するしかない問題が存在。
- 本作品により、WebベースのUIを用いたエディタによって効率的な編集が可能となる。

新規性等

- 本作品は、法令検索や法令編集を行う専用のソフトである。今までにない編集のしやすさ・Webベースに作成されたエディタの点で革新的な作品。縦書き、横書きのいずれにも対応可能。
- Next.jsというフレームワークを利用し、法令データ／法令APIを、法令検索機能・特定の法律における条文の詳細検索する機能において活用。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 法令の条文を読み解くことに慣れていない方々のため、生成AIを用いて、改正された法の直前時点との差異内容の概要を分かり易い日本語で解説した補足文章を自動生成して並置する機能を提供する作品。

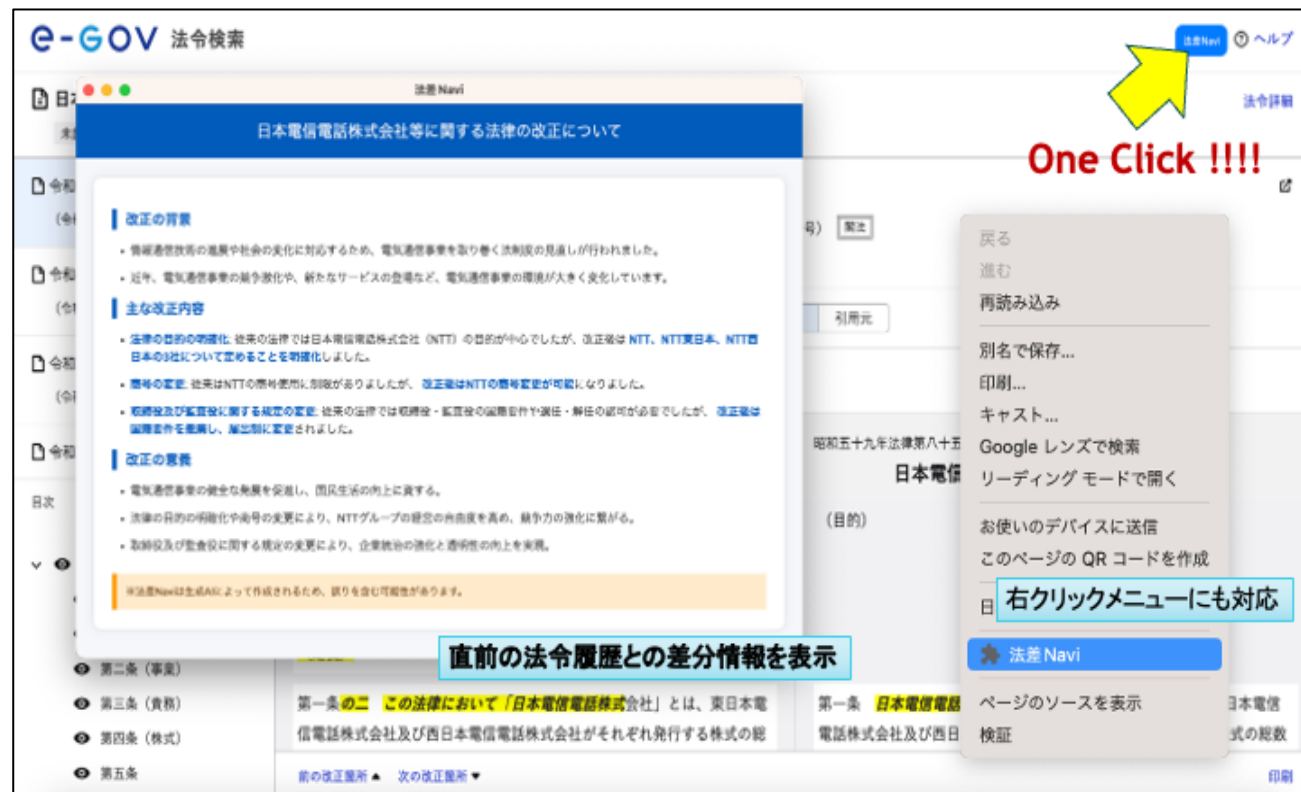
社会に対して生み出す価値

- 現在、多くの国民は法令の条文を読み解くことに慣れていないため、現状のe-Gov法令検索に実装されている新旧表示を用いても、どのような法改正があったかを直感的に理解するのに困難を生じている可能性が存在。
- 本作品により、利用者は法改正があったときの条文上の変化を大づかみに把握することが可能となる。

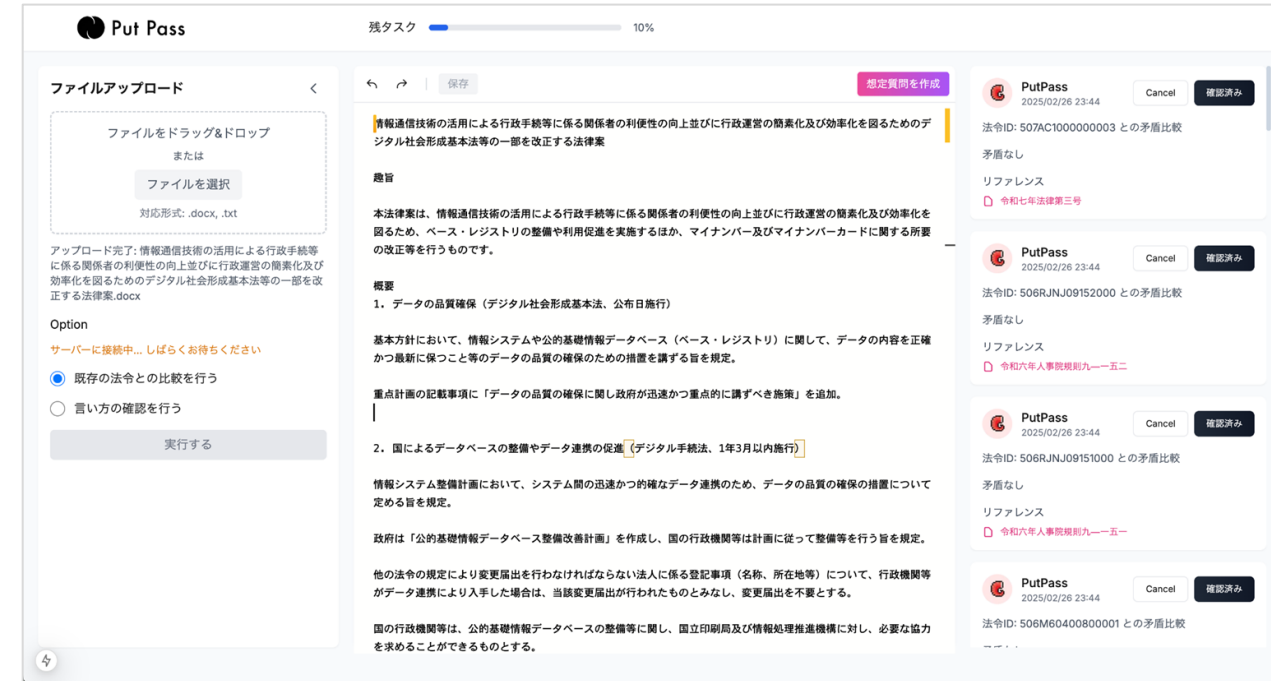
新規性等

- 本作品は、既に法改正に関する情報を解説した書籍やwebの記事等のような類似のサービスがあるが、当該既存サービスに比べ、e-Gov法令検索を経由することで任意の条文についての改正情報を選択し、かつ、即時に概要や要点に関する情報を得られる点で革新的な作品。
- 生成AIを利用し、法令APIをe-Gov法令検索の拡張機能として改正内容の理解補助において活用。

作品の画面イメージ



作品の画面イメージ



作品の概要

- タコ部屋で作業を行う若手・中堅官僚のため、法令案の作成をAIと行うことで、法令案と既存の法令との矛盾、想定される質問の生成などを提供する作品。

社会に対して生み出す価値

- 現在、改正しようとする法律と関連法令を手作業で照らし合わせ、用語の意味が別の法律と矛盾しないか確認するのに膨大な時間がかかっています。
- 本作品により、AIによる法令横断チェックで「既存の法令との矛盾や懸念点がないか」をコメント提示。AIのコメントを確認しながら文章作成することで、法案作成にかかる時間を効率化することが可能。

新規性等

- 本作品は、生成AIが「既存のすべての法案と矛盾性や懸念点をコメントする」といった、人とAIが共同しながら進めるUXの点が革新的な作品。
- 生成AIを利用し、作成中の文章と既存の法令を一つ一つ確認を進めていく点において活用。

作品の概要

- 規制・制度の担当者や条文の改正検討者のため、内容を読解したい条文を自動で解析し、定義語や参照先などを可視化した上で、一目で内容が分かるように条文のそばに表示する作品。

社会に対して生み出す価値

- 法令は構造が複雑で参照先が散らばって読みにくく、行政官等にとって負担。
- 本作品により、法令を効率的に読解でき、他の行政事務に割ける時間が増加し、行政事務を通じた社会活動の活性化・効率化に寄与。規制・制度の時宜を逸しない運用・改正により、社会全体の利便性が持続的に向上。
- 本作品は実動するWebアプリを公開しているため（※）、今すぐに実際に利用可能。
※ <https://yamachig.github.io/autokommentar/>

新規性等

- 規制担当者や法令立案者による条文分析に特化し、定義語や参照先などを可視化、一覧表示する点で革新的。
- Next.jsを用いたWebアプリで、クライアントサイドで動作。e-Gov法令検索から円滑に遷移できるブラウザ拡張機能を提供。
- 法令XMLに情報が無い定義語や参照先等の解析に、パーサライブラリLawtextを活用。

作品の画面イメージ



作品の概要

- 交通事故での混乱を解消するため、過去の事故情報や法令データを参照し、事故現場の状況から次にとるべきステップを提供する作品。事故の状況等の情報を入力すると、補償金額の参考値も提示される。

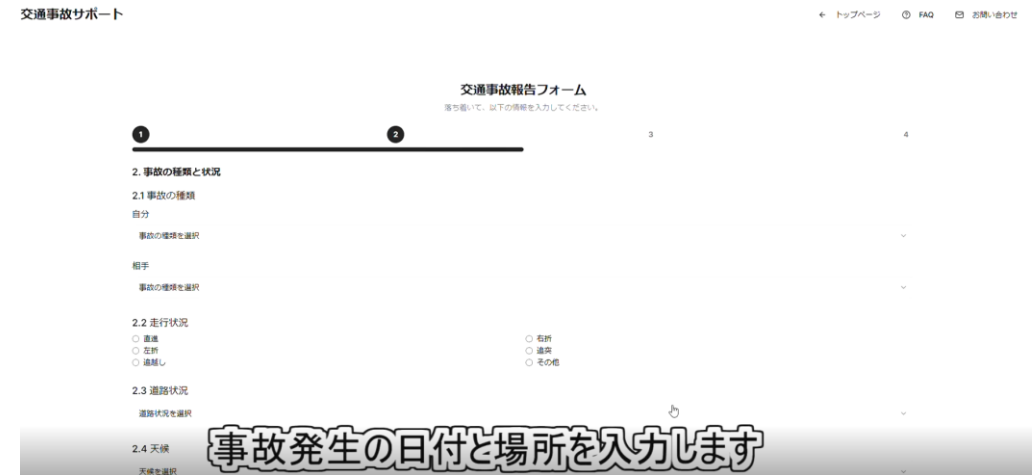
社会に対して生み出す価値

- 現在、道路交通法の改正等もあり、事故対応の手順や適切な判断が難しくなっている。
- 本作品により、交通事故の対応策の提示、データ蓄積が可能となる。

新規性等

- 本作品は、法令の変化や新規判例にも対応した情報を提供する点で革新的な作品。
- RAGとベクトル検索を利用し、交通事故にまつわる法令データをアドバイス生成の制度向上や、弁護士への情報提供において活用されることが期待できる。

作品の画面イメージ



デジタル庁
Digital Agency